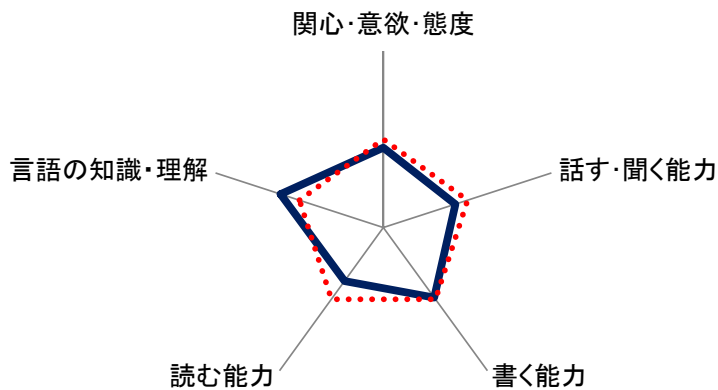


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

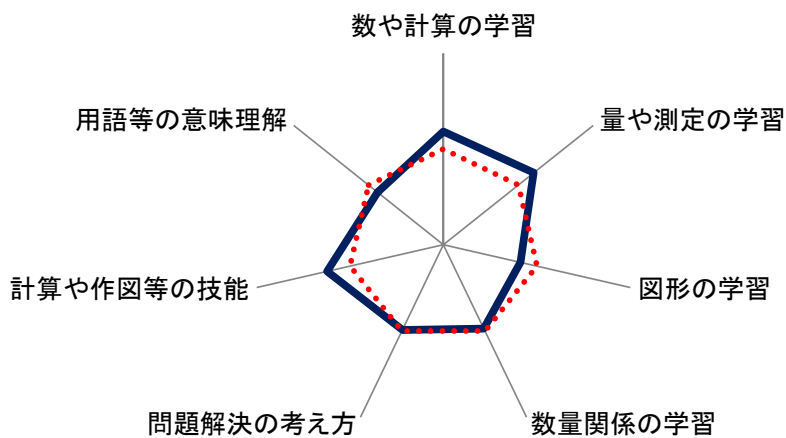
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

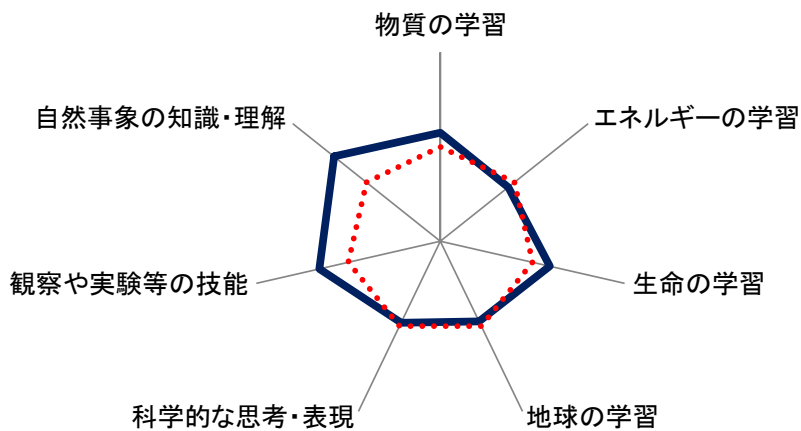
— 町平均
..... 全国平均



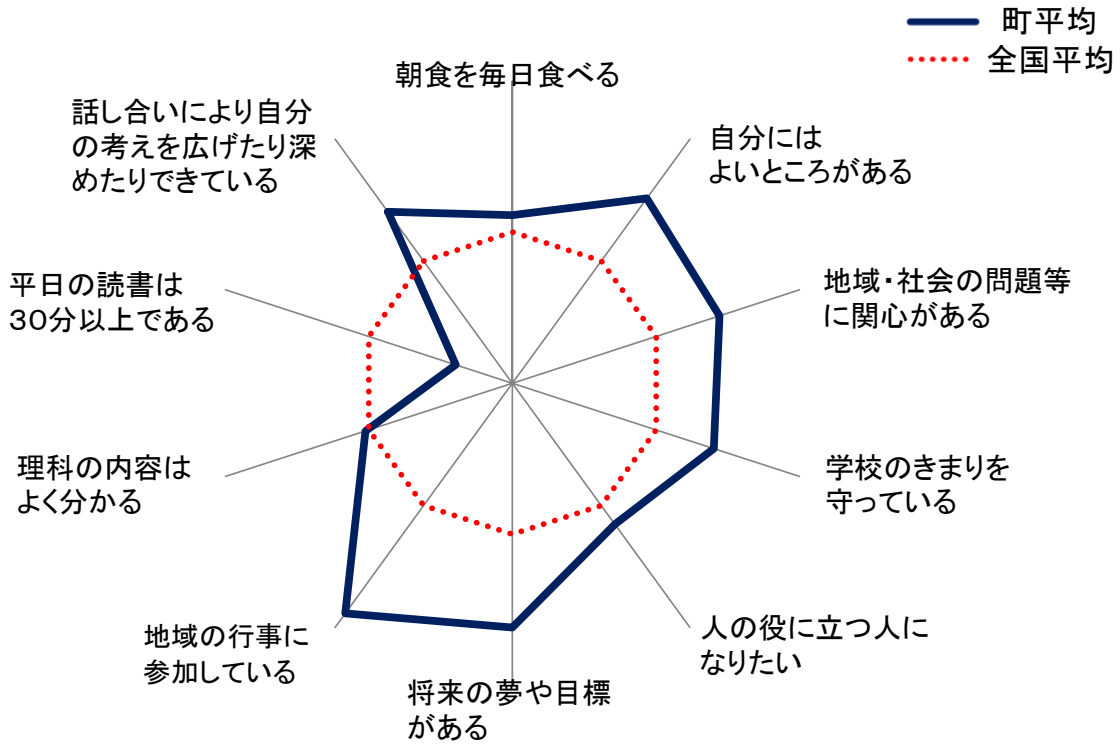
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、理科においては、全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、特に「自然事象の知識・理解」や「観察や実験等の技能」の各項目が良好である。国語の「言語の知識・理解」や算数の「計算や作図等の技能」の各項目は全国平均を上回っているものの、国語の「読む能力」や算数の「図形の学習」の各項目が下回っていることなどから、今後、知識と活用のバランスのとれた学力の育成を図る取組を推進し、更なる学力の向上を図ることが望まれる。

児童質問紙調査では、特に、「地域の行事に参加している」や、昨年度、全国平均を大きく下回っていた「地域・社会の問題等に関心がある」の各項目が良好であり、学校や地域が一体となって、ふるさと教育の推進や内子町学力向上推進プランに沿った児童の育成に取り組んでいる様子が見える。また、「将来の夢や目標がある」や「話し合いにより自分の考えを広げたり深めたりできている」の各項目が全国平均を大きく上回っており、自尊感情や主体的な学習態度等を育てる指導の成果が表れている。昨年からの課題である読書への興味を高める活動を取り入れることにより、「読む力」が身に付いたことを児童自身が実感できるような読書指導の充実や読解力向上に向けた授業改善が望まれる。